



ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合

構成市町

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

### 今号の主な内容

- ・24年度ごみ処理状況……………2
- ・6月組合議会報告……………2
- ・エコスクール草加市立両新田小……3
- ・24年度情報公開制度実施状況…3
- ・草加市消費生活展出展……………3
- ・放射能濃度等測定結果……………4
- ・第一工場ライトアップのお知らせ…4
- ・こしがや田んぼアート2013……4

●第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 資源エネルギー課：☎048-966-0123  
FAX.048-965-6569 総務課：☎048-966-0122 資源リサイクル課：☎048-966-0124

●第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 建設準備室：☎048-936-1251 FAX.048-931-5206

●ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> ●発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課

## 構成市町小学4年生の工場見学！



新しい年度が始まって早4か月、構成市町の多くの小学4年生が、ごみ処理の勉強のため第一工場の見学に訪れています。組合に運ばれてくる大量の可燃ごみをみて、焼却施設等の説明や見学を通し、机上では学べない様々な体験をしていきます。

ごみの分別やリサイクルの大切さを学習し、日々の生活で自分たちが今できるごみ減量に心がけてほしいと思います。



ごみピット



プラットフォーム



中央操作室



ごみクレーン模型



## 堆肥の製造・販売を中止しています！

堆肥化施設では、福島第一原子力発電所の事故による放射能の影響により、平成23年7月25日から「せん定枝・刈り草」の受入れを中止しています。このため、堆肥の製造・販売も見合わせています。

現在、公共施設（河川等は除く）からの「せん定枝・刈り草」については、試験的に受入れをし、発生場所ごとに放射性セシウム濃度の測定を行っています。

その測定結果を収集・分析しながら、堆肥化事業の再開に向けた準備を進めていますが、堆肥の製造・販売までには、もうしばらく時間がかかります。

今後、国、県や近隣の自治体の動向などを踏まえ堆肥化事業の再開を判断していきます。再開の時期が決まりましたら、広報やホームページでお知らせいたします。

◆問合せ先 資源リサイクル課 ☎966-0124

刈り草の放射能濃度の測定▶



# 平成24年度のごみ搬入量と処理状況

## 平成24年度の搬入状況

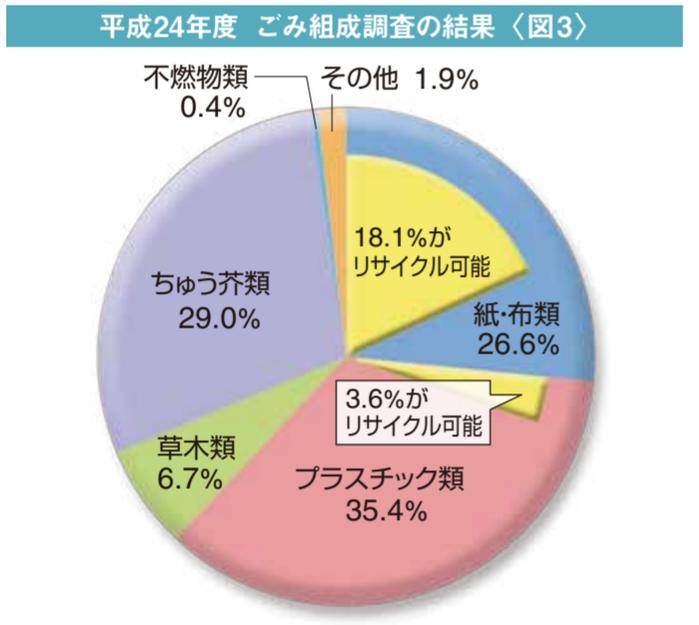
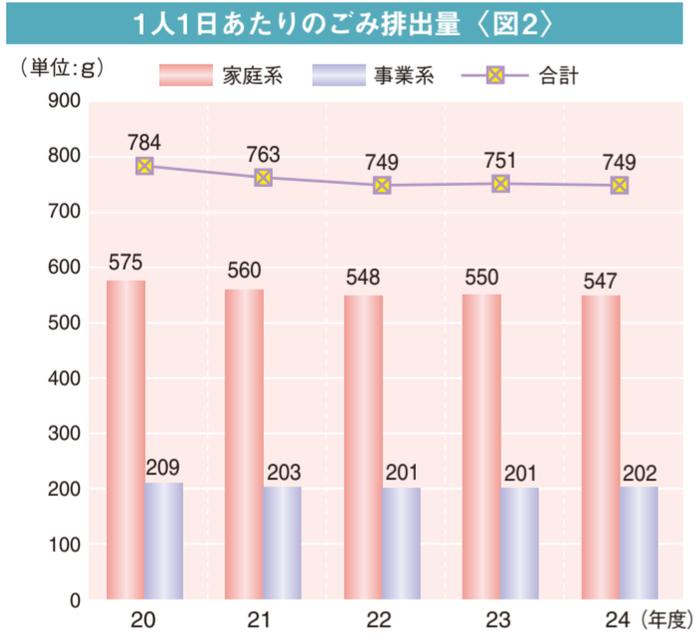
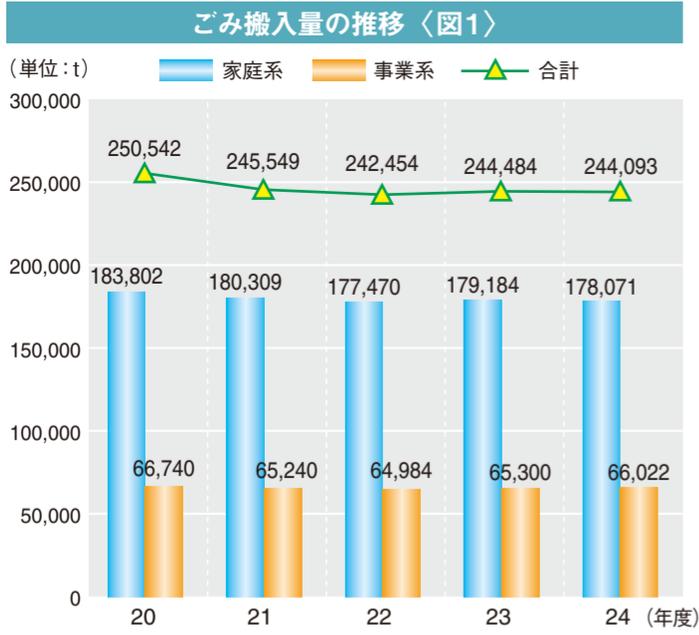
組合に搬入される可燃ごみの中には、家庭から出されるごみ(家庭系ごみ)と商店や事業所などから出されるごみ(事業系ごみ)があります。

平成24年度に組合管内5市1町から搬入された可燃ごみの量(せん定枝、刈り草を除く)は、家庭系ごみが178,071トン、事業系ごみが66,022トンで合わせて244,093トンありました。

平成23年度(244,484トン)と比較すると、391トン減量となり、対前年度比0.2%減少しました。(図1)

## 一人一日あたりのごみ排出量

家庭系ごみだけで見ると、住民一人一日あたりの搬出量は54



**工場見学及び夏休み親子スクールの中止について**

第一工場空調設備更新工事のため、7月20日から9月初旬まで工場見学を休止いたします。これに伴い、毎年多くの方にご参加いただいていた夏休み親子スクールは、今年度は中止とさせていただきます。

**6月組合議会が開かれました**

平成25年6月東埼玉資源環境組合議会定例会が、6月26日に開催されました。今議会では、管理者から議案の提出はありませんでした。



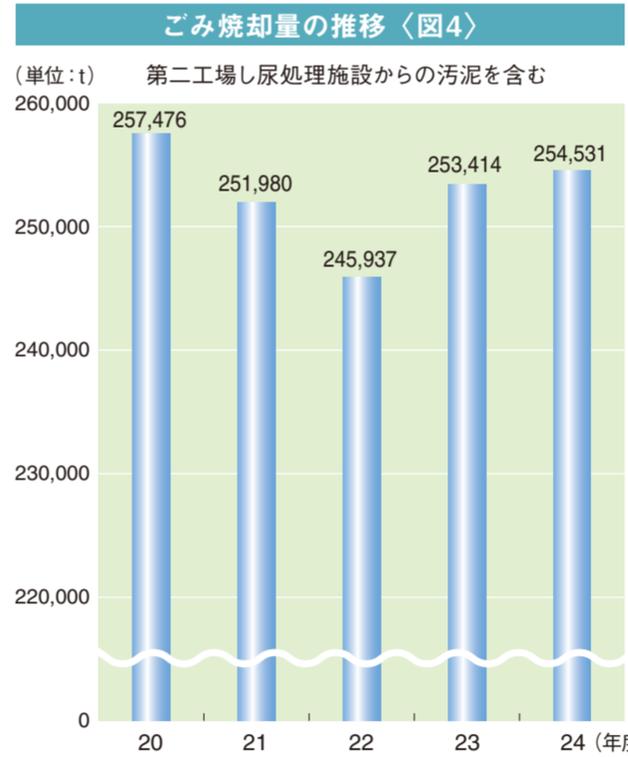
組合では、搬入されるごみの組成調査を定期的に行っています。これは、ごみを分析することで、ごみの種別とリサイクル可能なごみの混入量を把握するためです。この調査結果を構成市町に報告し、ごみ減量化・資源化対策の資料として役立てています。

## ごみ組成調査

平成24年度のごみ焼却量は、254,531トンで、平成23年度に比べて1,117トン多くなりました。第一工場の焼却施設は、運転開始から18年が経過し、ここ数年は非常に高い稼働状況が続いています。定期的に焼却炉の点検を実施して、設備の更新や部品の取り替えを行っています。安全かつ安定的な焼却処理をすすめるた

## ごみ焼却量の推移

平成24年度の調査結果では、紙・布類が全体の26.6%を占める中、資源としてリサイクルすることができる雑誌、ダンボール、新聞紙などは18.1%です。またビン、缶などの不燃物も含まれていました。台所からでた生ごみ類(ちゅう芥類)は、29%ありました。(図3)



平成24年度の埋立量は、7,774トンで平成23年度の4,669トンと比べ3,105トン増加しています。これは、平成23年度

## 埋立量

平成24年度の埋立量は、8,661トンとなりました。また、埋立率は、スラッグの見かけ比重を1.5として算出した場合、埋立容量170,000m<sup>3</sup>のうち34.6%となります。(図5)



# 学校と地域の力により エコで育む豊かな心

## 草加市立両新田小学校

草加市立両新田小学校(中村俊臣校長、児童数443人)は、草加市の南西に位置し、南側にある毛長川を渡ると足立区という県境にあります。

本校は「明るいあいさつ、あふれる笑顔」をキャッチフレーズに学校・家庭地域が連携を図り、児童の豊かな心を育てています。

地域の方々には学校教育への関心が非常に高く、「両新田小学校応援団」を中心に環境教育活動にも大変ご協力をいただいています。

### 一両小エコ大作戦

5年生の総合的な学習の時間で『池たろう(学校ビオトープ)・両小林を守る』という取り組みを授業で行っています。この池たろうと両小林は数年前に荒れてしまいい、平成23年度までは「復活!池たろう・両小林」と題して、児童が学習の中で環境を整えてきました。昨年度からその復活した池たろうと両小林を守る活動や生き物を観察していく活動を行っています。この活動は授業にとどまら



池たろう復活(ビオトープ)

▲出前授業



ず、興味を持った児童が積極的に観察や守る運動として取り組んでいます。

また、草加市の環境課による出前授業として、環境の整え方や守り方、また生態系などについて、講義していただきました。講義の後には実際に池たろうと両小林に行き、環境の整え方を実践しました。

さらに、毎年夏休みに行う自然教室では奥日光の自然を観察・記録し、草加の自然との違いについ

▲アルミ缶の回収



て比較したり調べたりしています。

### 一環境委員会の活躍

5・6年生の環境委員会の児童が中心となり、毎週木曜日の朝にアルミ缶の回収を行っています。取り組みは地域の皆様のご理解もあり、回収日ではない日にもかごに入れてもらっています。

毎月の委員会活動の時はエコキヤップの回収の取り組みも行っています。学校に設置されている回収ボックスだけではなく、地域で「協力いただいている「ふれあいの里」からも回収されたエコキヤップをいただいています。この取り組みも地域の方々へ広がり、時間のある時に学校に届けてくださ



▶ペットボトルキャップの回収

る方もいて児童も喜んでいます。

エコキヤップは回収の業者の方に引き渡しています。5月は38,700個回収され、45人分のワチンを購入することができそうです。

アルミ缶も同じように別の回収業者に引き渡しています。アルミ缶回収による収益金は児童の傘立てや教室のカーテンなどの購入に充てさせていただきました。

### 一牛乳パックリサイクル

草加市全体で取り組まれています。本校でも1年生から6年生すべての学年で給食の牛乳パックのリサイクルに取り組みんでいます。給食で出された牛乳パックは



▶牛乳パックのリサイクル



▶給食委員会

飲み終わった後に開き、各クラスで洗浄・乾燥させ、5・6年生の給食委員会が回収してリサイクルに出しています。回収された牛乳パックはトイレトーパーとして児童のもとに戻ってきます。このトイレトーパーを使うことで児童のリサイクルの意識が高まっています。

### 一資源回収

P.T.Aのご協力により、各学期に一度、資源回収を行っています。児童は回収日の朝に持ってこられる分量だけを持ってこることで参加したり、日常で出てくる段ボールなどを倉庫にためておき回収したりしています。得られた収益金はP.T.A活動に活用しています。

今年度も6月6日(木)に行われました。地域の方々や児童の協力で多くの資源を回収することができました。



## 草加市消費生活展に参加

平成25年6月1日(土)・2日(日)に草加市立勤労福祉会館において「くらしはすべてバランス!」をテーマに、第45回草加市エコバッグコンテストやリフ

オームファッションショー、食品と暮らしの安全基金代表小若順一氏による記念講演会がありました。

また、消費者団体や関係団体からは、展示や健康相談、フリーマーケット、地元野菜の即売、古着・廃食油の回収コーナーが設けられ、多くの方々が来場されにぎわいました。

当組合では、ごみ減量化啓発用パネル展示、新聞紙で作ったリサイクルバッグと古紙100%のトイレトーパーを配布し、住民のごみ減量・リサイクルに対する啓発活動を行いました。今後もこのようなイベントを通じてごみの減量化・資源化のPRを行ってまいります。

## 平成24年度 情報公開制度実施状況について

東埼玉資源環境組合では、組合が保有する行政情報についての知る権利を尊重し、組合構成市町の住民の皆様が必要とする情報を積極的に提供することにより、組合に対する理解と信頼を深め、住民参加の推進並びに公正な組合運営の確保に寄与することを目的として情報公開条例を定めています。

このたび、平成24年度の情報公開制度の実施状況についてまとめましたので最新情報をお知らせします。昨年度に受け付けた公開請求の件数は1件でした。

詳細につきましては下記のとおりです。なお、組合の運営状況については、随時、ホームページ等に掲載しておりますのでご覧ください。

実施機関別請求件数および処理状況(件)

実施機関	請求件数	処理状況			
		公開	部分公開	非公開	取下げ
管理者	1	0	0	1	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
議会	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	0

※1件の請求で複数の文書が対象となる場合があるため、1件に対し複数の決定が行われることがあります。

### 請求内容

- ・焼却飛灰の搬出、処分先 1. キレート処理されたもの 2. キレート未処理のもの

問合せ：総務課情報公開担当 ☎048-966-0122

# 第一工場のライトアップを再開します!

東日本大震災の影響により、節電対策として中止していました第一工場のライトアップを、日曜展望台公開日前日とクリスマスや大晦日等の日に、再開いたします。夜空にそびえる第一工場のライトアップをお楽しみください。

**ライトアップ月日**  
7/28・8/13・8/14・8/15・10/19  
**時間** 夜9時まで  
※11月以降のライトアップ日時は広報リユース10月号に掲載します。



展望台のライトアップ

## 好評販売中

### エコバッグ

買物に便利な布製のバッグを販売しています。レジ袋削減のためご利用ください。

- ◆販売価格 / 1枚400円
- ◆大きさ / タテ36cm × ヨコ46cm × 底マチ14cm、ハンドル(ひも)60cm
- ◆販売場所 / 第一工場事務所
- ◆受付・問合せ / 計画課 ☎966-0121



## 統計データ

平成25年4月～6月実績値

- 可燃ごみ搬入量 (前年度対比 838t減)
    - 25年度 **62,834t (98.7%)**
    - 24年度 63,672t
  - し尿搬入量 (前年度対比 159kℓ減)
    - 25年度 **21,685kℓ (99.9%)**
    - 24年度 21,844kℓ
  - 売払電力量 (前年度対比 2,040,912kwh減)
    - 25年度 **20,899,296kwh (91.1%)**
    - 24年度 22,940,208kwh
  - 熱供給量 (前年度対比 32GJ増)
    - 25年度 **2,948GJ (101.1%)**
    - 24年度 2,916GJ
- ※熱供給量 G (ギガ) = 10億の単位  
1J (ジュール) = 0.24cal (カロリー)
- 堆肥化施設搬入量  
※平成25年度、放射能汚染による枝・草の受入れ中止のため掲載していません

# 「こしがや田んぼアート2013」



今年で4回目になる、「こしがや田んぼアート2013」が始動しました。色つきの異なる数種類の古代米等を使い田んぼに巨大アートを描きます。今年も、5月26日(日)に70組174人が参加して、組合西側増森地内の田んぼで田植えが行われました。参加した子供たちは、泥だらけになりながら大きな歓声をあげ田植えを行っていました。

今年の絵柄は、こしがや鴨ねぎ鍋のキャラクター「ガーヤちゃん」と、「ウルトラマン」で、稲穂が実り始める7～8月には、田んぼに浮かぶ姿を楽しむことができます。

### ◆展望台特別公開日

●月日 7/14・**7/21**・7/28・8/3(土)・8/4・8/11・**8/18**・8/25・9/1  
**通常公開**：月曜日～金曜日 / **第3日曜日**  
**受付時間**：午前9時30分から午後3時30分 (公開は午後4時まで)

## 8/3(土) 組合駐車場で納涼祭を開催します。ウルトラマンがやってきます!

こしがや田んぼアート2013及び納涼祭に関するお問い合わせ

越谷市観光協会(事務局) ☎048-966-6111 FAX 048-965-4445



イメージ図



田植え

## 放射能濃度等測定結果について

焼却灰などに含まれる放射能濃度と、最終処分場における放射線量の測定を行いました。測定結果は下表のとおりです。

### ■放射能濃度測定結果

採取日	第一工場ごみ処理施設 (単位：ベクレル/kg・放流水ベクレル/ℓ)				
	飛灰	主灰	焼却残渣	熔融スラグ	放流水
H25.4.18	1120	350	246	109	不検出
H25.5.14	1110	215	180	94	不検出
H25.6.11	1310	246	148	95	不検出

### ■放射線量測定結果

採取日	最終処分場 (単位：ベクレル/ℓ)		
	地下水上流	地下水下流	放流水
H25.4.18	不検出	不検出	不検出
H25.5.8	不検出	不検出	不検出
H25.6.12	不検出	不検出	不検出



### ■放射線量測定結果 ※毎週地表100cmにて測定した結果の平均値

測定月	最終処分場 (単位：μSv/h)			
	埋立エリア東側	埋立エリア西側	埋立エリア南側	埋立エリア北側
H25年4月	0.15	0.14	0.14	0.11
H25年5月	0.14	0.12	0.12	0.11
H25年6月	0.14	0.12	0.12	0.10

測定結果の詳細につきましては、施設の担当課にお問い合わせください。

【問合せ先】 第一工場ごみ処理施設：資源エネルギー課 ☎048-966-0123  
最終処分場：資源リサイクル課 ☎048-966-0124

稲で田んぼに絵を描く「田んぼアート」、どうしてあんなにきれいに描けるか、みなさんご存じですか。「こしがや田んぼアート」では、測量の技術を活用して、原画に忠実な絵を再現しています。まず、A4版の原画データをパソコンに取り込み、このデータを座標化(数値化)します。次に、このデータを展望台(斜め上)から見ても歪まないよう補正・拡大します。こうして出来たデータを元に、測量機械を使用し杭を打ち、杭と杭をテープで繋ぎ合わせて、田んぼに絵を再現していきます。今年も、ウルトラマン等を描くために、約1,300点の杭が打たれておりますが、この作業は、毎年、越谷市測量設計業協同組合の皆さんがボランティアで行っています。このように「こしがや田んぼアート」は、たくさんの方々の協力により開催されております。今年もリユースから素晴らしい景色が見られると思います。(い)

## ちよつと一言

	人口(人)	前年同月比(人)	世帯数(世帯)
越谷市	331,025	1,362	139,967
草加市	244,125	△118	107,927
八潮市	84,431	333	36,027
三郷市	135,185	1,691	57,104
吉川市	68,312	589	26,394
松伏町	30,946	△163	11,503
合計	894,024	3,694	378,922

管内人口

平成25年6月1日現在